

令和3年8月24日

保護者各位

千代田せいが保育園
園長 倉掛 秀人

令和3年度 第1回 保護者アンケート
(千代田区の教育プログラムに反映させるために)

納涼会を終えてもコロナ禍で気が重い状況が続いていますが、大切なことを見失わず、保護者の皆さんとは、がっちりスクラムを組んでよりよい子育て、幸せな生活づくりを続けていきたいと考えております。4月からはや5月が過ぎようとしています。ここで今年度、初めての保護者アンケートをとらせていただき、極めて大切な保育方針を確認させていただきます。理由は2つあります。

(理由1) 保育で最も大切にしたいことは、保育内容について、園が目指していることや大事にしたいと考えていることを「いいな」と思ってくださいか、支持していただいているかどうかです。皆さんと保育園の間に、共に楽しく子どもの子育てを支え合うパートナーシップが構築されているか、という確認をさせていただきます。

(理由2) 千代田区はいまの「就学前教育プログラム」を改訂します。その検討委員に任命されました。当園の保育は世界で主流の保育カリキュラムと同じなのですが、保育の目標や方法について、みなさんのご意向も把握させていただき、千代田区の保育計画づくりの基礎資料にさせていただきたいからです。

◆ アンケートの説明

保護者の皆さんと、目指している保育目標や、そのために実施している保育方法についてお聞きします。次の項目は保育園が大事にしていることなのですが、皆さんの率直なお考えを教えてください。

回答は「そう思う」・「思わない」・「わからない」の三択と自由記述です。

自由記述には、それを選んだ理由について、どんな時にそう感じるか、具体的な事例があれば教えてください。

回答内容は、今後の保育の参考にしたいと思います。なお、保護者の皆さんにもフィードバックしますので、そのつもりでお書きください。

◆ アンケートの質問項目

(1) 保育目標について。子どもは一人ひとり発達も個性も異なるので、その子らしく生活できるようにしたいと考えていますが、どう思われますか？

(2) 保育目標について。子どもはもともと赤ちゃんの頃から意欲的で、自ら環境に関わっていこうとします。そのために発達や個性にあった体験を選べる環境(空間・もの・人など)を大切にしているのですが、どう思いますか？

(3) 保育目標について。集団のある園生活では、子ども同士の関わりを大切にしています。そこでは社会性(ルールを身につけたり、支え合って生活したりすること)や思いやりが育つと考えるからです。どう思われますか？

(4) 保育方法について。アロペアレンティングについてです。人類の子育ては親だけではなく、保育園のように、いろいろな大人との共同保育でした。虐待が増え育児の負担感が重い現代こそ、それが大切だと考えますが、どう思われますか？

(5) 保育方法について。子どもの権利条約に批准している日本では、子どもの最善の利益を優先した社会を目指していますが、当園の保育でも子どもの人権を重視しています。これからの時代、子どもが主体的に生きる力を育むためにも、何をして遊ぶか、何を探求するかなど、子ども自身が園生活の意思決定に関わること(参画すること)が大事だと考えますが、どう思われますか？

(6) 保育方法について。園庭がなく狭い敷地の保育園ですが、運動機会の確保や自然との触れ合い、開放感を感じる生活などに力を入れています。

(7) 保育方法について。乳幼児期には脳の敏感期があり、そうした発達心理学や脳科学の知見を踏まえながら、五感を通した実体験を大切に保育をしています。

(8) 保育方法について。早寝早起きなど睡眠サイクルや生活リズムを守ることが子どもの発達には重要だと考えて、午前中の活動、午睡のあり方など登園から降園までのデイリープログラムを工夫しています。

(9) 保育の質について。当園が千代田区のコンペで選ばれた時から、子どもに経験させたい活動内容の質は「保育のプロセスにある」と考えてきました。私たちが「善い」と価値判断している保育内容は、価値中立的なものではありません。そう考えたとき、子育ての主人公である保護者の皆さんと、「不断の対話」をもっと充実させていくことが大切だと考えています。

(10) 令和3年度も8月で5ヶ月が経ちます。秋から冬への保育計画に反映させたいので、今年度の保育(行事を含む、思い出してもらうために以下に例示します)で、皆さんが「善い」と感じた内容を教えてください。(自由記述)